



年 組 名前

道新でワークシート

まなびのひろば ぐんぐん …… まずはあいさつ

最初は恥ずかしくても慣れれば無理なくできるようになる

佐々木真由美代表

例1

職員室に入る際はあいさつとお辞儀をする



例2

物は両手でやりとりする



高校で身に付けたいマナー

- ① あいさつ
- ② 言葉遣い
- ③ お辞儀
- ④ 物の受け渡し
- ⑤ 音の慎み
- ⑥ 公共の場での気遣い

例3

通学時など公共の場では周囲へ気遣いを。友達との話し声の大きさには注意が必要



高校での3年間は、大人になる直前の時期でもある。小中学校であいさつなど基本的な習慣が身に付いた人もいるかもしれないが、いま一度確認してみよう。

学校や企業などに講習を行う一般社団法人日本マナー推進協会（札幌）の佐々木真由美代表（64）は「高校は先生らを相手にマナーを練習でき、訓練に最適な場所」と話す。高校生では、就職や進学のための意識が固まっておらず、大人の振るまいも身につけていない人が少なくないという。

佐々木さんによると、高校生時代に身に付けたいマナーは①あいさつ②言葉遣い③お辞儀④物の受け渡し⑤音の慎み⑥公共の場での気遣いの6点。

まずはあいさつ。佐々木さんは「あいさつの本質は『あなたの存在を認めている』というメッセージ」と強調する。明るくはきはきとした態度が大切だ。

「言葉遣い」では先生など目上には「です」「ます」調で話す習慣を付ける。職員室に入る際は「失礼します」とお辞儀。「来客へのあいさつもできると良い」と佐々木さんは言う。

物の受け渡しは両手で行う。大きな音を立てないことも、日本社会では重視されやすい。ドアの開閉や椅子を引く際の音が大きくならないよう配慮すること。さらに公共の場では、周囲に迷惑をかけないように気をつけよう。通学時に公共の場で友達と話す際は、声の大きさに注意が必要だ。

佐々木さんは「マナーが身につけば、自分の財産になる。相手に良い印象を与えられるので、強みになる」と話している。

2020年4月07日（火） 朝刊 教育・進学 17P（記事は再編集しています）

①高校で身に付けたいマナー①～⑥と例1～例3の関係としてふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

- | | | |
|-------------|-----------|----------|
| ア マナー①→例1 | マナー②③④→例2 | マナー⑤⑥→例3 |
| イ マナー①②→例1 | マナー③④→例2 | マナー⑤⑥→例3 |
| ウ マナー①②③→例1 | マナー④⑤→例2 | マナー⑥→例3 |
| エ マナー①②③→例1 | マナー④→例2 | マナー⑤⑥→例3 |

②「自分が中学生のうちにこのような行動ができるようになりたい」と考えることを、マナー①～⑥のうちから一つ選び、それと関連付けて書きなさい。

例：マナー④にある「物の受け渡し」がしっかりできていないので、友達や家族から物を受け取るときも両手で受け取り、相手に良い印象を与えたい。